KOTO

IBP-935N・714N

〈リヤドライブシャフト用〉ボールベアリングプーラー

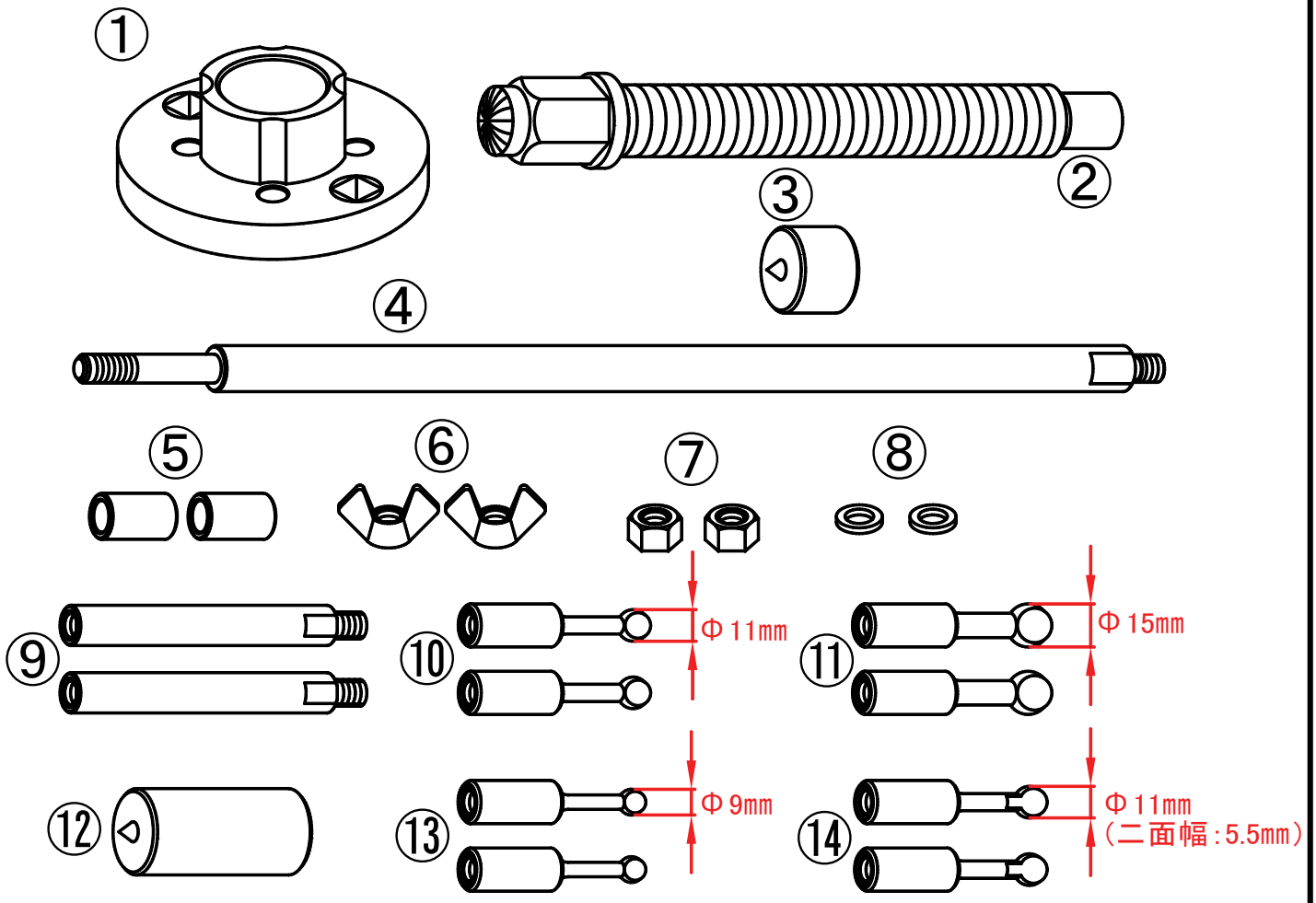
取扱説明書

※ この度はKOTO製品をお買求め頂きまして誠にありがとうございます。

※ 間違った使用方法による怪我の防止及び、長くご使用頂く為にも必ずこの取扱説明書をお読みになり、使用方法を理解した上でご使用下さい。

※ この取扱説明書はいつでもお読み頂ける様に大切に保管して下さい。

～セット内容～



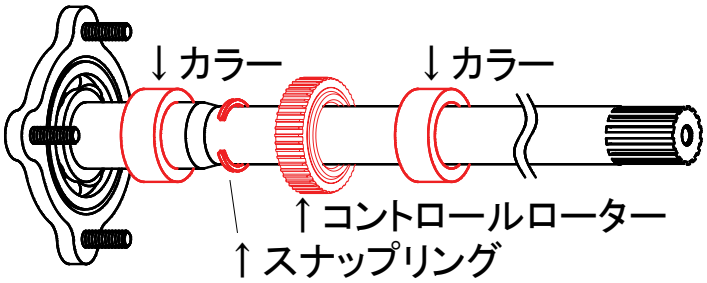
	部番	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	品名	ホルダーASSY	センターボルト	センターアダプター	ヨークボルト	カラー	蝶ナット	ナット
セット内数量	IBP-935N	1	1	1	2	2	2	2
	IBP-714N	1	1	1	2	2	2	2

	部番	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
	品名	ゴムパッキン	延長ヨークボルト	アタッチメント11	アタッチメント15	ロングアダプター	アタッチメント9	アタッチメント11N
セット内数量	IBP-935N	2	2	2	2	1	2	2
	IBP-714N	2	2	2	2	–	–	–

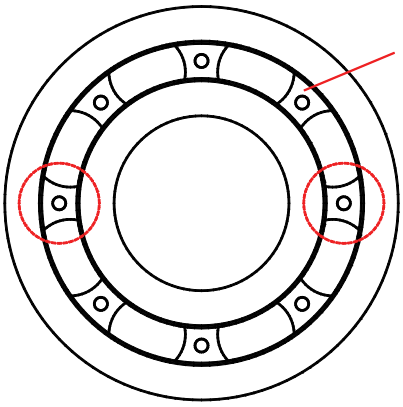
※部品注文の際は型式及び部番でお申し付け下さい。

※IBP-714Nには⑫. ⑬. ⑭の部品は入っていません。

～使用方法～

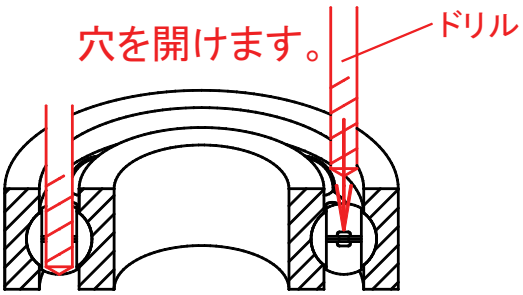


1. 車両から外したドライブシャフトのカラー・コントロールローター・スナップリングをタガネやグラインダー等を使用し取り外します。

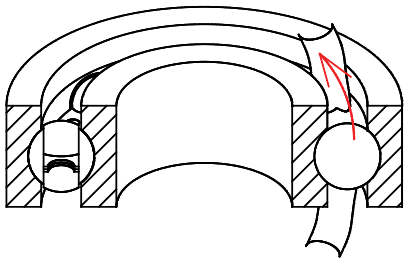


《ベアリングイラストⅠ》

2. ボール保持器のリベット（ベアリングイラストⅠ：赤〇部）をドリルを使用し穴を開け剥離します。
（ベアリング断面イラストⅡ参照）



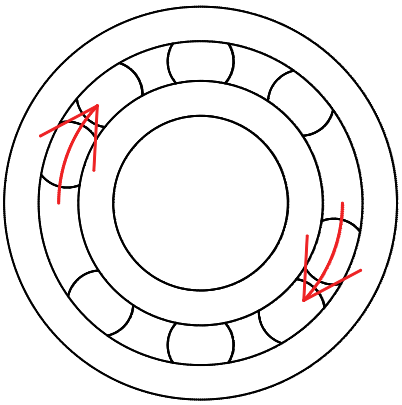
《ベアリングイラストⅡ》



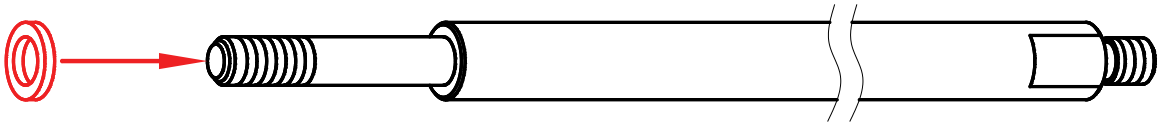
《ベアリング断面イラストⅢ》

3. ドリルで剥離した部分をペンチ等でめくり、アタッチメントが入るスペースを作ります。
（ベアリング断面イラストⅢ参照）

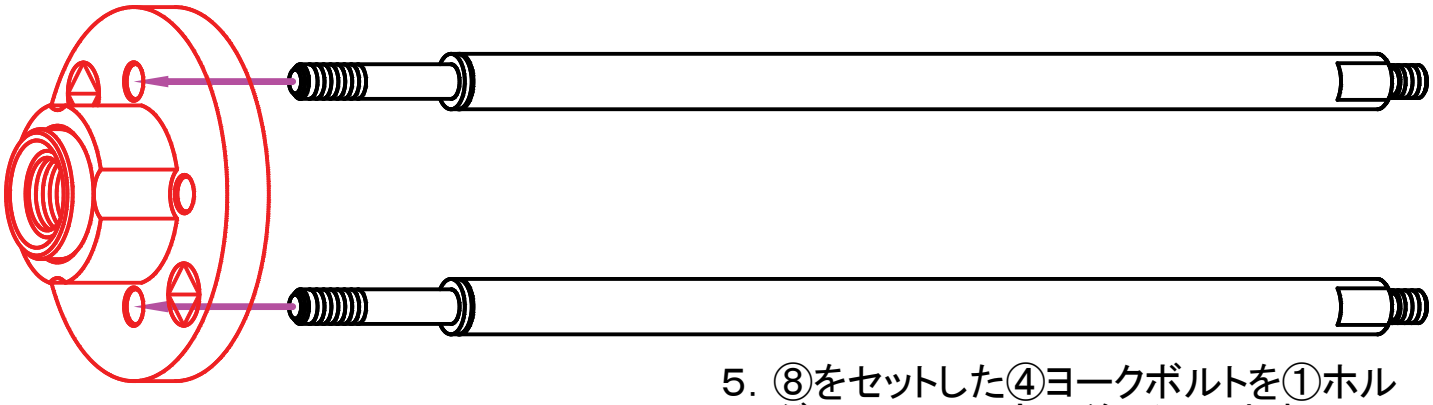
※ アタッチメントを入れるスペースを確保出来ない場合にはリベットを3・4箇所外しボールを移動させスペースを作ります。（ベアリングイラストⅣ参照）



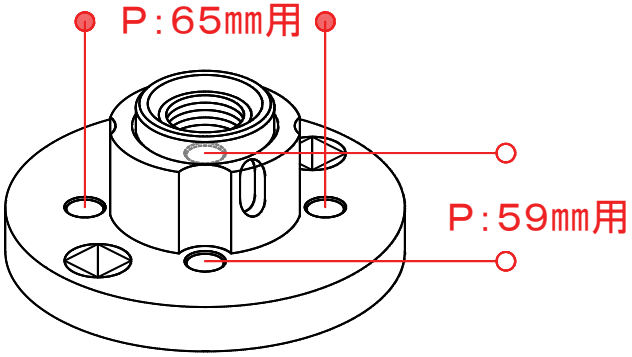
《ベアリングイラストⅣ》

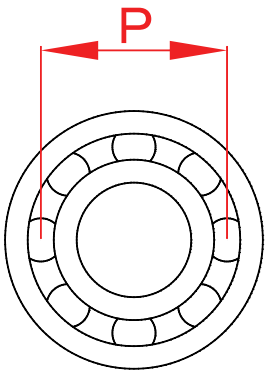


4. ④ヨークボルトの長いネジ側に⑧ゴムパッキンをセットします。
（2本とも行います。）

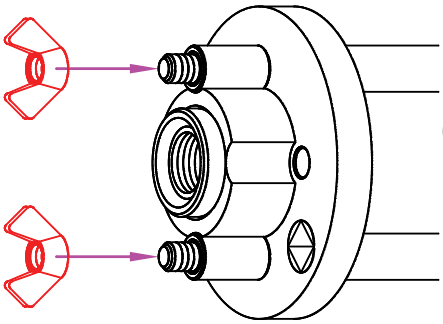


5. ⑧をセットした④ヨークボルトを①ホルダーASSYの穴に差し込みます。
その際ベアリングP（ピッチ）寸法(下記説明イラスト参照)を確認し、対応するホルダー穴(2ヶ所)を使用して下さい。

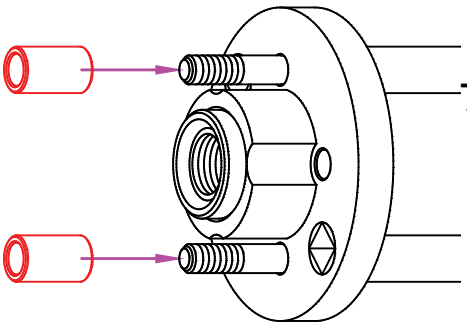




P＝ベアリングボール間中心径

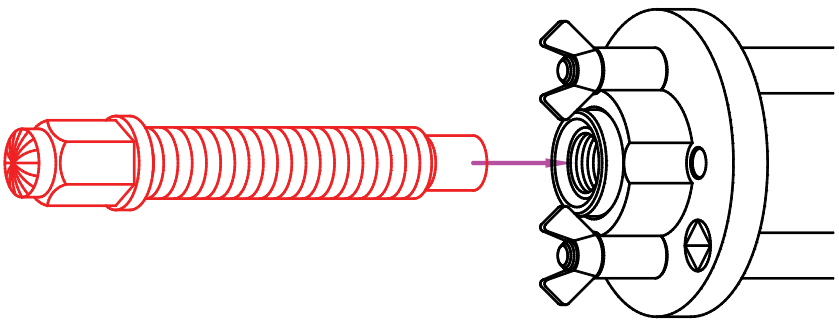


6. ⑤スペーサーを④ヨークボルトネジ先端から入れます。

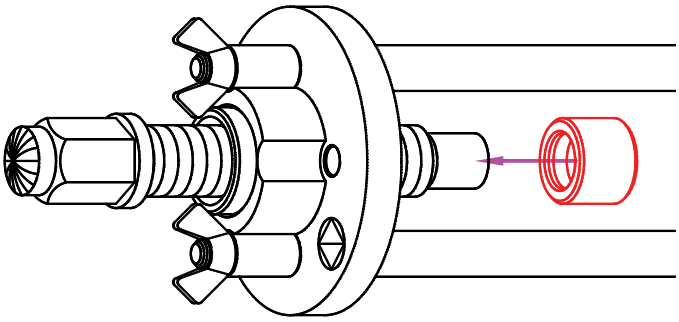


7. ⑥蝶ナット又は⑦ナットをセットします。

ベアリングにアタッチメントをセットするので、この段階では強く締め込まないで下さい。

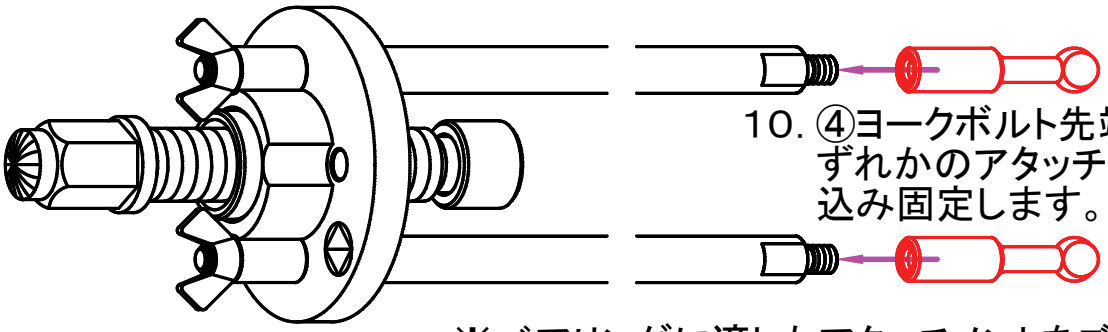


8. ②センターボルトを①ホルダーASSYにセットします。



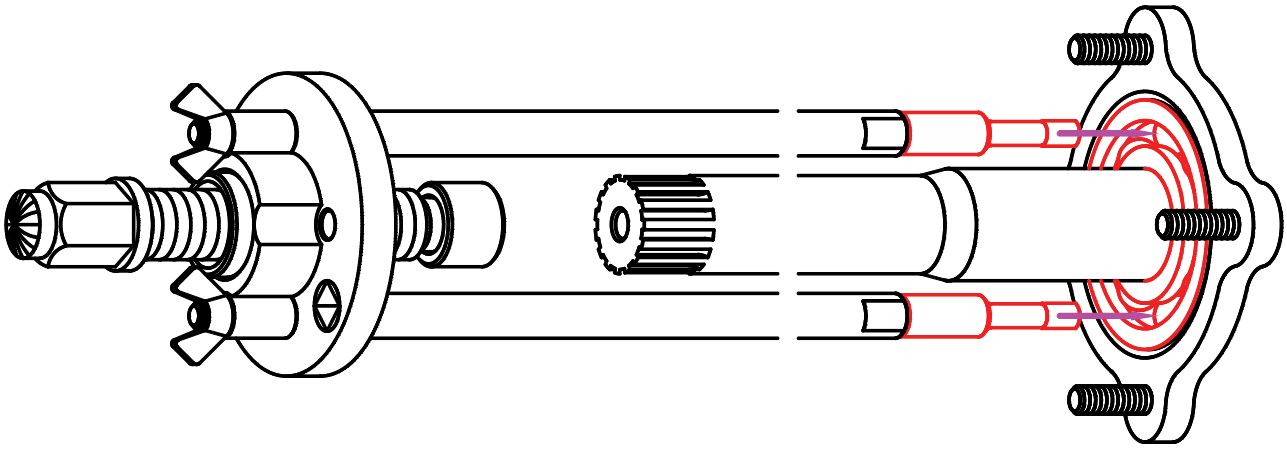
9. ②センターボルト先端に③センターアダプターをセットします。

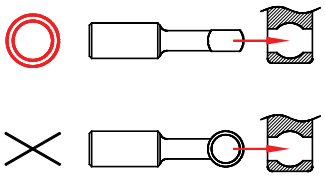
※軽自動車等のドライブシャフトが短いタイプには⑫ロングアダプターをご使用下さい。



10. ④ヨークボルト先端に⑩・⑪・⑬・⑭いずれかのアタッチメントをしっかりねじ込み固定します。

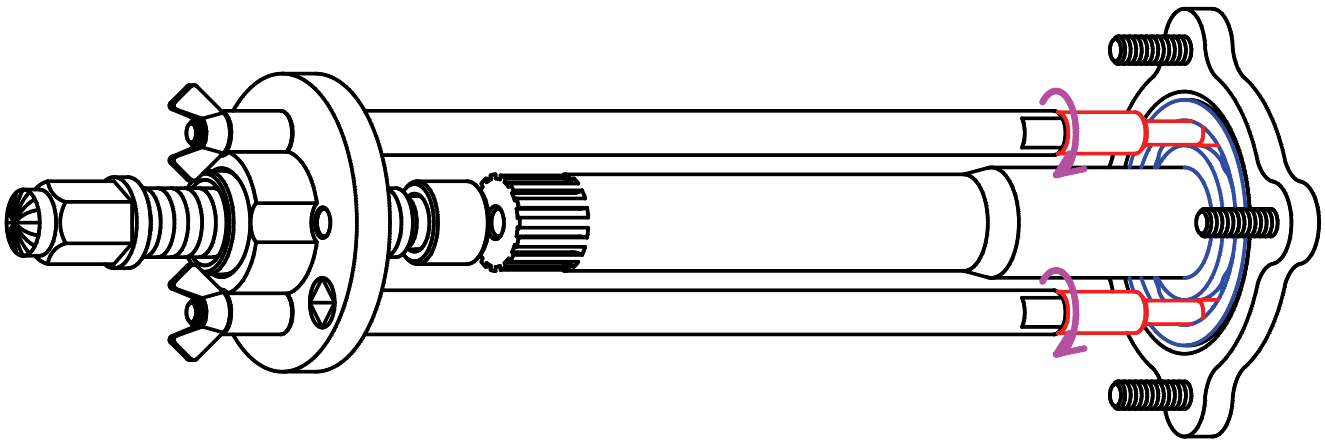
※ベアリングに適したアタッチメントをご使用下さい。

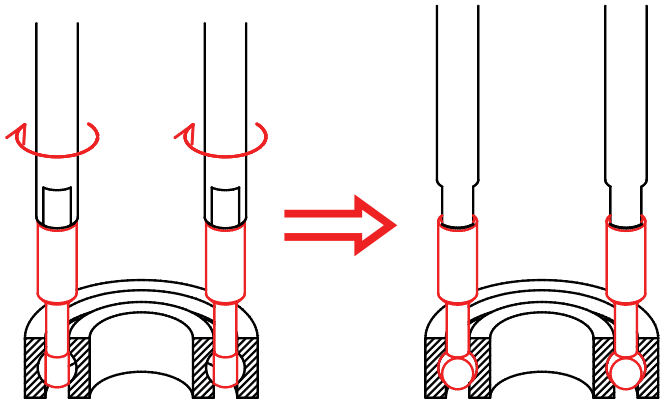




11. ベアリングにアタッチメントを差し込みます。

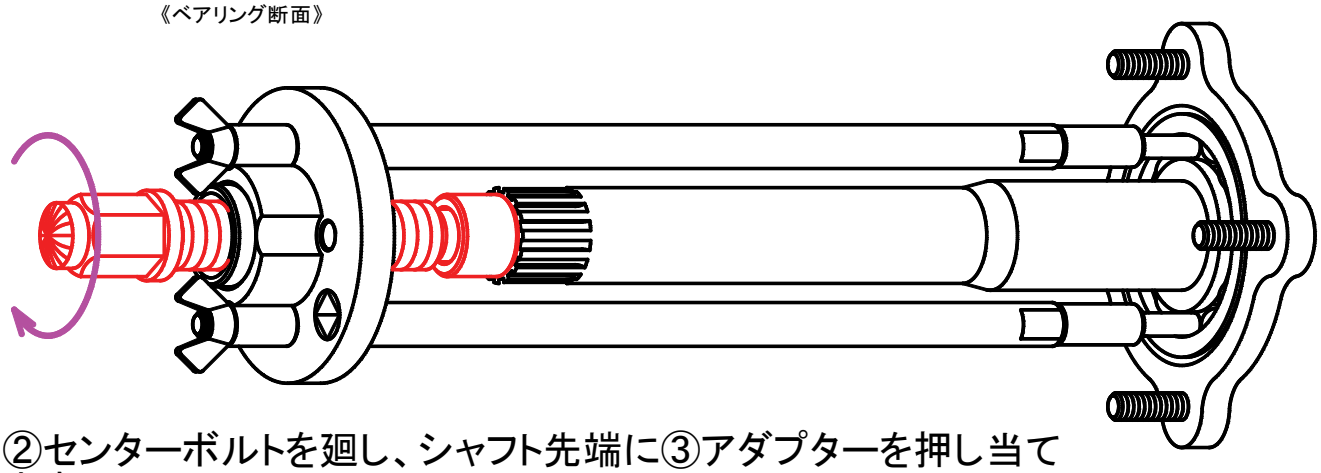
※差し込む際、アタッチメントの向きを調整して下さい。





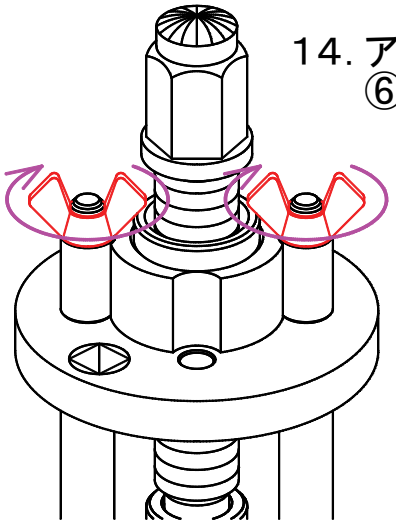
《ベアリング断面》

12. ④ヨークボルトごとアタッチメントを90°右回しで回転させ、ベアリングの溝に掛けます。（右記イラスト参照）
※ 左に廻すとネジ部が緩んでしまう恐れがあります。

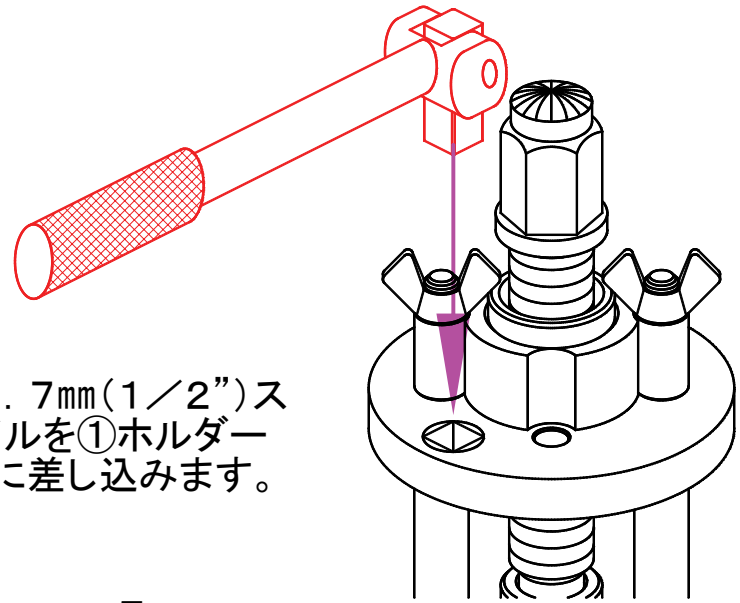


13. ②センターボルトを廻し、シャフト先端に③アダプターを押し当てます。

※ アタッチメントがベアリングの溝に掛かっている事を確認しながら行って下さい。

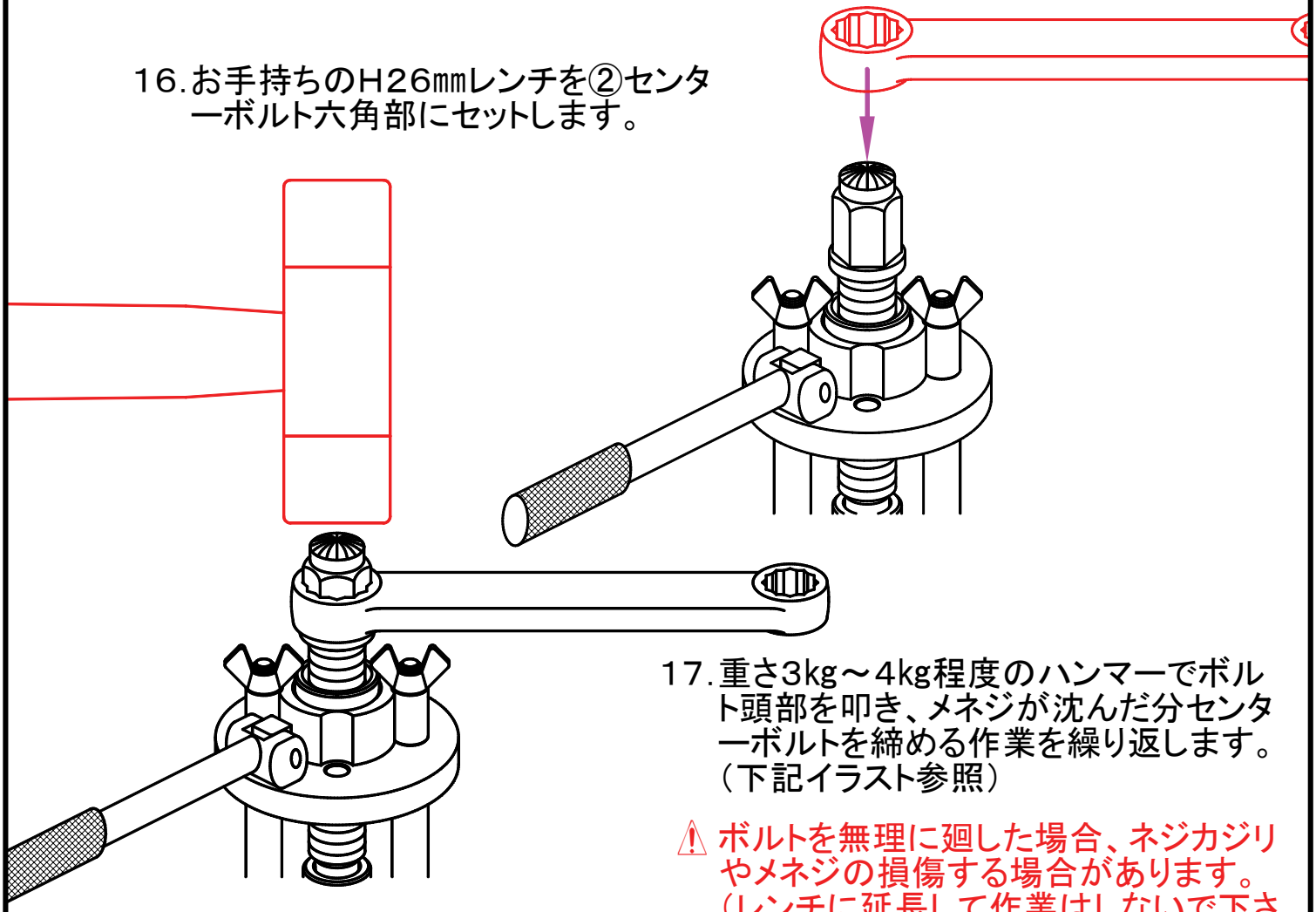


14. アタッチメントの角度が変わらない様に注意しながら、⑥蝶ナット(⑦ナット)を締め込んで下さい。



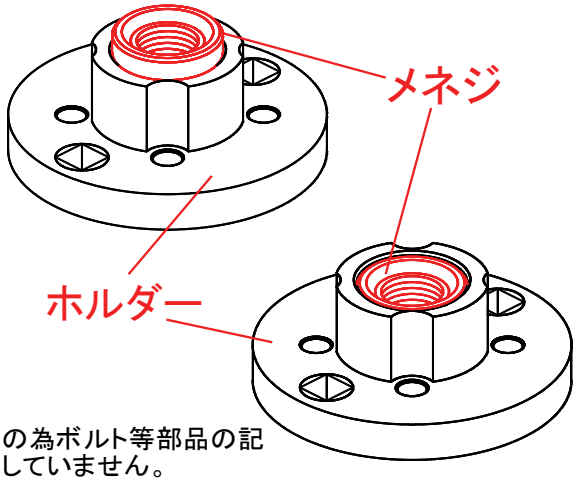
15. お手持ちの12．7㎜（1／2”）スピンナーハンドルを①ホルダーASSYの口部に差し込みます。

16.お手持ちのH26㎜レンチを②センターボルト六角部にセットします。



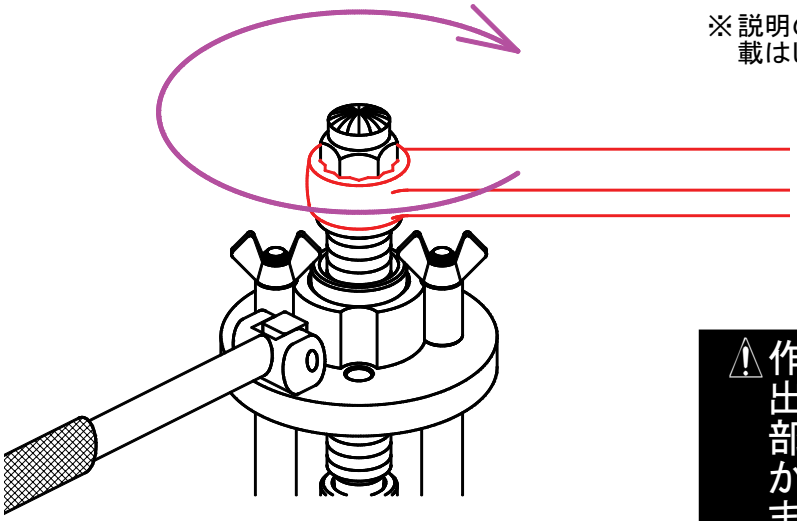
17.重さ3kg～4kg程度のハンマーでボルト頭部を叩き、メネジが沈んだ分センターボルトを締める作業を繰り返します。（下記イラスト参照）

⚠ ボルトを無理に廻した場合、ネジカジリやメネジの損傷する場合があります。（レンチに延長して作業はしないで下さい。）



※説明の為ボルト等部品の記載はしていません。

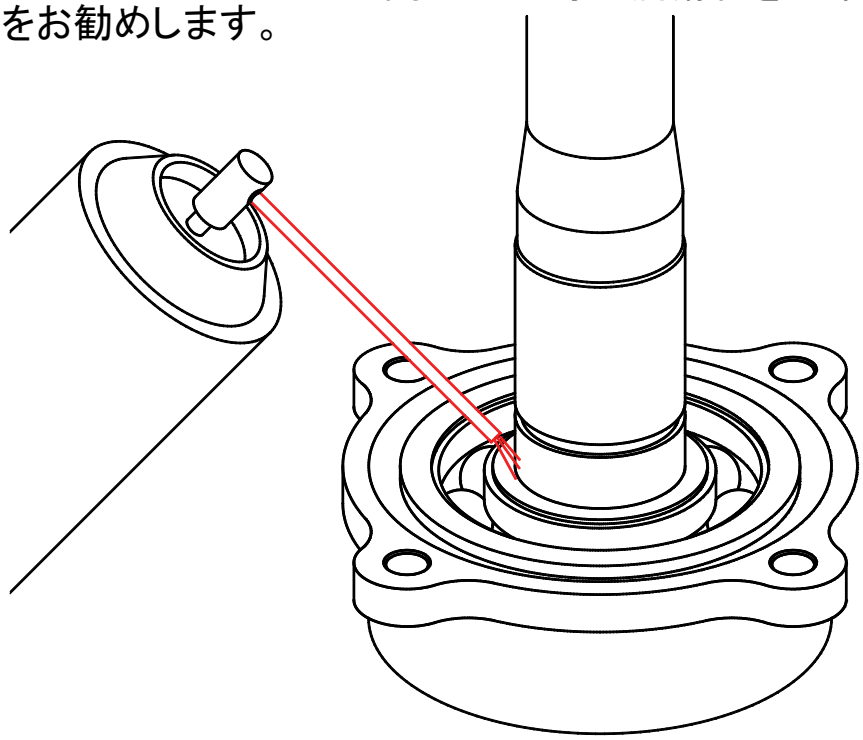
繰り返し行います。

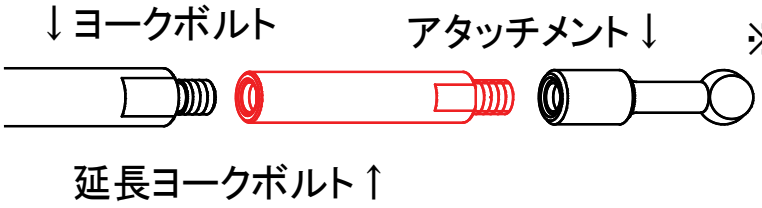


⚠ 叩き込む場合は上記イラストの様にメネジがホルダーの淵より段差が出来ない様にして下さい。
それ以上の叩き込みはホルダー及びメネジが破損します。

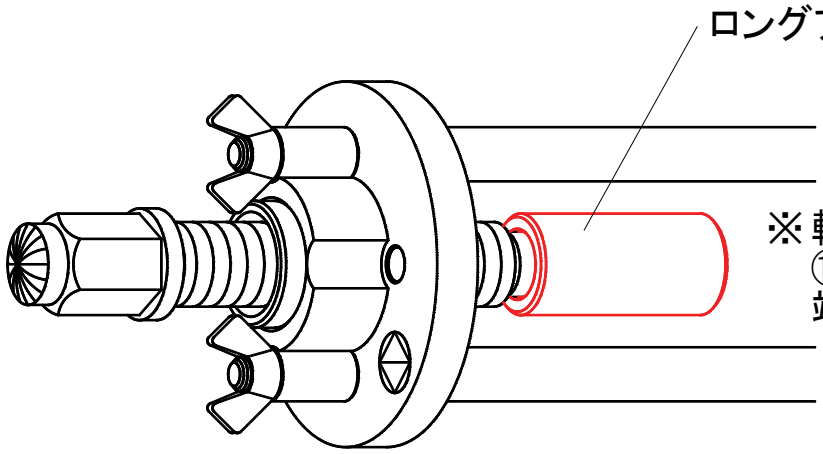
⚠ 作業中には絶対にホルダー上部に顔を出さない様にして下さい。
部品が破損した場合、ボルトに力が掛かっているので飛び跳ねる危険があります。

※抜取作業前にベアリングとシャフトの間にCRC等の潤滑材を塗布し、十分浸透させてからの作業をお勧めします。





※ シャフトが長い場合には、⑨延長ヨークボルトを④ヨークボルトとアタッチメントの間にセットしてご使用下さい。



※ 軽自動車等のシャフトが短い場合には⑫ロングアダプターをセンターボルト先端に取り付けてご使用下さい。

～注意事項～

⚠ 使用前後には必ずネジ部にゴミ等の異物がない事を確認して下さい。

⚠ ネジ部には必ずグリース等塗布してから作業を行って下さい。

⚠ ベアリングが外れにくい場合はシャフトとベアリングの隙間に潤滑材等を十分に浸透させてからご使用下さい。
場合により塗布してから作業するまでの時間を十分にとってからご使用下さい。

⚠ 使用するレンチは延長せずにご使用下さい。

⚠ 必ずハンマーでショックを与えながら抜き取りを行って下さい。
ボルトのねじ込みだけでは抜けません。

⚠ 大きいサイズのベアリングに先端の小さいアタッチメントを使用しますと、作業中に外れる恐れがあります
必ずボール溝に合ったサイズのアタッチメントをご使用下さい。

⚠ インパクトレンチ等の工具は使用禁止です。

⚠ 取り外し作業の際は危険防止の為、絶対にホルダーの上には顔を出さないで下さい。

⚠ 打撃作業時には急にアタッチメントがベアリングから外れる場合がありますので、十分に注意しながら作業を行って下さい。

⚠ 作業時には必ず保護メガネ等着用の上ご使用下さい。

⚠ 本製品以外の作業内容は車両の整備書等をご確認下さい。

⚠ 本製品は消耗品です。